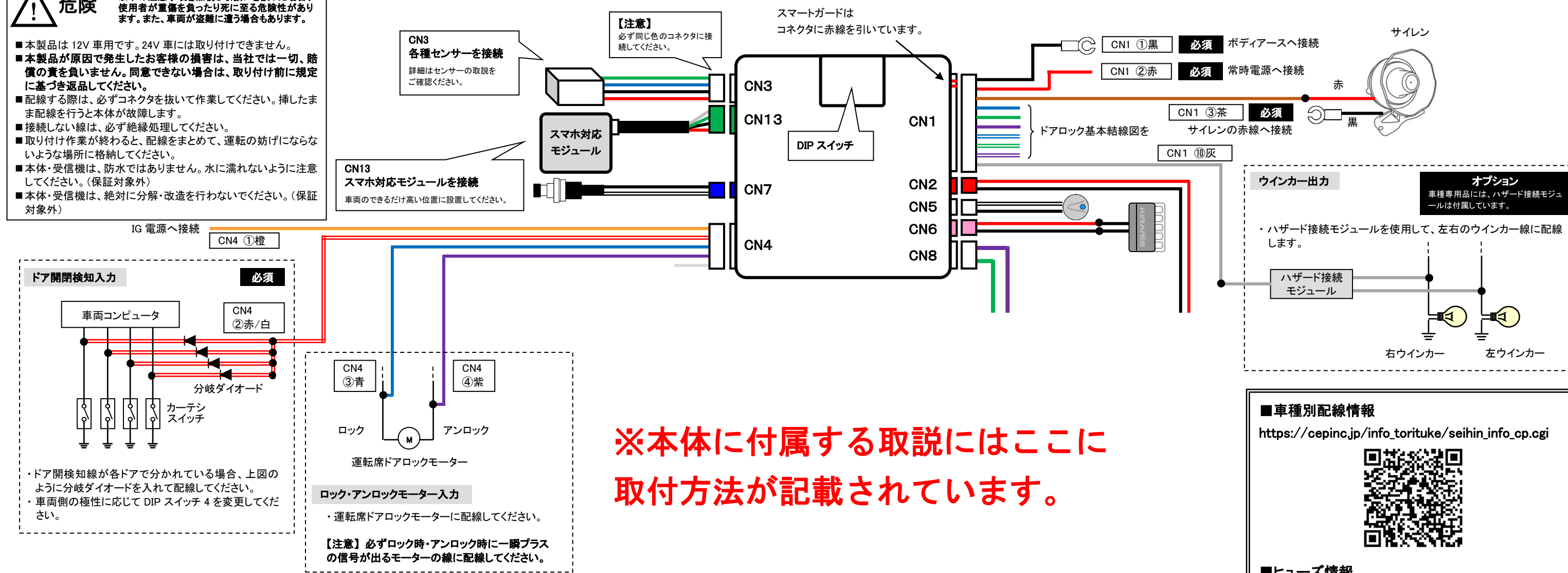


!

危険

以下の注意事項を無視し取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負ったり死に至る危険性があります。また、車両が盗難に遭う場合もあります。

- 本製品は 12V 車用です。24V 車には取り付けできません。
- 本製品が原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品してください。
- 配線する際は、必ずコネクタを抜いて作業してください。挿したまま配線を行うと本体が故障します。
- 接続しない線は、必ず絶縁処理してください。
- 取り付け作業が終わると、配線をまとめて、運転の妨げにならないような場所に格納してください。
- 本体・受信機は、防水ではありません。水に濡れないように注意してください。(保証対象外)
- 本体・受信機は、絶対に分解・改造を行わないでください。(保証対象外)



※本体に付属する取説にはここに
取付方法が記載されています。

表の見方					
No	線色	入出力	極性	接続条件	説明
※ 接続条件 ○:必須 □:車両によって必須 △:使用する機能によって接続 ▲:オプション ×:未使用 使用する主な機能や車両の条件は表下に記載					

CN 1 10ピン白コネクタ					
1	黒	電源	(-)	○	ボディアースへ接続。
2	赤	電源	(+)	○	常時電源へ接続。
3	茶	OUT	(+)	○	サイレン出力。
4	青	OUT	NC	△	アンロック出力。
5	緑		COM		
6	紫		NO		
7	青/白	OUT	NC	△	ロック出力。
8	緑/白		COM		
9	紫/白		NO		
10	灰	OUT	(+)	▲	ハザードアンサーバック出力。

CN 2 2ピン赤コネクタ					
1	赤	OUT	(+)	□	ヒューズ制御用リレーを接続
2	黒	OUT	(-)		

CN 3 4ピン白コネクタ (セキュリティセンサー)					
1	赤	電源	(+)	▲	オプションのセンサーを接続。
2	黒	電源	(-)		
3	青	OUT	(-)		
4	緑	OUT	(-)		

CN 4 5ピン白コネクタ					
1	橙	IN	(+)	○	ACC、または IG 入力。
2	赤/白	IN	(-/+)	○	ドア開閉検知線入力。
3	青	IN	(+)	○	ロックモーター入力。
4	紫	IN	(+)	○	アンロックモーター入力。
5	白	IN	-	×	未使用。(ロットによっては空き端子)

CN 5 2ピン白コネクタ					
1	黒/白	OUT	(+)	○	単発 LED スキャナを接続。
2	黒	OUT	(-)		

CN 6 2ピン桃コネクタ					
1	赤	OUT	(+)	▲	各種スキャナを接続。
2	黒	OUT	(-)		

CN 7 2ピン青コネクタ					
1	黒/白	IN	(-)	○	設定スイッチを接続。
2	黒	IN	(-)		

CN 8 2ピン白コネクタ					
1	緑	OUT	COM	○	付属のヒューズホルダーの赤線に接続。
2	紫	OUT	NO		付属のヒューズホルダーの赤線に接続。
緑線と紫線に極性はございませんので、逆に接続しても動作します。					

CN 13 4ピン緑コネクタ					
1	赤			○	スマホ対応モジュールを接続。
2	黒				
3	緑				
4	白				

■車種別配線情報

https://cepinc.jp/info_torituke/seihin_info_cp.cgi

■ヒューズ情報

https://cepinc.jp/chumon/relay_attack_guard/haisen.html

※本体に付属する取説にはここに取付方法が記載されています。

スマートガード 設定方法

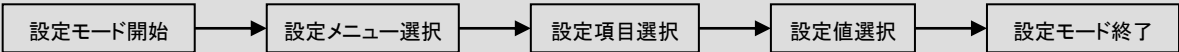
- ①アンロック状態で車両の電源を OFF にし、設定スイッチを 5 秒以上押すと、LED が点滅しサウンドが短く 5 回鳴り、設定モードになります。
- ②設定スイッチを押す度に、LED が点滅し、サウンドが短く鳴り、設定メニューが切り替わります。
- ③変更したい設定メニューの回数 LED が点滅し、サウンドが鳴ったところで車両の電源を ON→OFF(プッシュスタート車の場合はスタートスイッチ 3 回押し)します。LED が点滅し、サウンドが短く鳴って、各設定メニューになります。

【注意】

・誤って設定モードに入ってしまった場合は、もう一度設定スイッチを5秒以上押してください。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。

- ④各設定メニューで、設定スイッチを押す度に LED が点滅し、サウンドが短く鳴り、設定項目が切り替わります。
- ⑤変更したい設定項目の回数 LED が点滅し、サウンドが鳴ったところで、車両の電源を ON→OFF します。LED が点滅し、サウンドが短く鳴って、各設定項目になります。
- ⑥各設定項目で、設定スイッチを押す度に、LED が点滅し、サウンドが短く鳴り、設定値が切り替わります。
- ⑦変更したい設定値の回数 LED が点滅し、サウンドが鳴ったところで、車両の電源を ON→OFF します。LED が点滅し、サウンドが短く 5 回鳴り、設定モードから抜けます。設定項目の値が変わります。

設定モードの流れ



設定メニュー① 【アンサーバック】							
番号	設定項目	1	2	3	4	5	6
1	アンサーバックサウンド ON 時間	1～10 段階（初期設定:3）					
2	アンサーバックサウンド間隔	1～10 段階（初期設定:5）					
3	ガード ON 時 サウンドアンサーバック回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	オフ
4	ガード OFF 時 サウンドアンサーバック回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	オフ
5	ガード ON 時 ハザードアンサーバック回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	オフ
6	ガード OFF 時 ハザードアンサーバック回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	オフ
7	ハザードアンサーバック速度	遅	速				

設定メニュー② 【スマートキー】							
番号	設定項目	1	2	3	4	5	6
1	コンビニモード	有効	無効				
2	アンロック状態でスマホを持って離れた時の動作	何もしない	警告音				
3	純正スマートキーでロック時にスマホからアンロック	アンロック	警告音				
4	設定リセット						

設定メニュー③ 【セキュリティ】							
番号	設定項目	1	2	3	4	5	6
1	セキュリティ機能	リレーアタック防止機能 有効 セキュリティ機能 有効	リレーアタック防止機能 有効 セキュリティ機能 無効	リレーアタック防止機能 無効 セキュリティ機能 有効			
2	セキュリティ強制解除操作	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	
3	セキュリティ監視開始タイマー	5 秒後	10 秒後	30 秒後	60 秒後		
4	セキュリティセンサー警告パターン	サウンド+ハザード 警告のみ	ハザード 警告のみ	サウンド+ハザード 警告 5 回目で アラーム	ハザード 警告 5 回目で アラーム	OFF	
5	センサー重度検知機能	有効	無効				
6	ドア開検知機能	有効	無効				
7	バッテリー脱着検知機能	有効	無効				
8	エンジンスターター対応	対応	アラーム				



【注意】

スライドカバーの爪が折れないように慎重に開けてください。

DIPスイッチの設定

DIP スwitchの設定は、取り付け時にのみ行ってください。不用意に設定を変更すると、本製品が正しく動作しなくなる可能性があります。（上:OFF、下:ON）

番号	設定項目	ON	OFF
1	未使用		
2	ドア開閉検知入力閾値	低	通常
3	未使用		
4	ドア開検知入力	+	-
5	未使用		

1. 未使用
2. ドア開閉検知入力閾値
ドア開検知信号がマイナスコントロール車両において、ドア開閉検知線の電圧がドアを開めている状態で低い車両は、ON にしてください。
3. 未使用
4. ドア開検知入力
ドア開検知信号がプラスコントロールの車に取り付ける場合は、このスイッチを ON にしてください。
5. 未使用

【参考】

詳細な使用方法に関しては、Web 上の取扱説明書をご確認ください。

https://cepinc.jp/chumon/smart_lockman/smg_torisetsu.html





注意

- ・本製品は、盗難を 100%防止できるものではありません。
- ・リレーアタックや CAN インベーター等の盗難手口の変更により、盗難防止能力が落ちたり、なくなったりする場合があります。
- ・車両から離れるときは、純正スマートキーとスマートフォンを両方携帯してください。車両のバッテリー上がり、スマートフォンのバッテリー切れ、故障によってアンロックができなくなる可能性があります。また使用される電波環境によっては当製品の感度が弱くなったり、反応しなくなる場合があります。
- ・スマートフォンが複数近くにあると干渉してしまい、検知できなくなる場合があります。
- ・車両によっては、バックドアの解錠を防止できない場合があります。ただし、万ーリレーアタックや CAN インベーター等でバックドアから乗り込まれてもアラームし、エンジンの始動はできません。

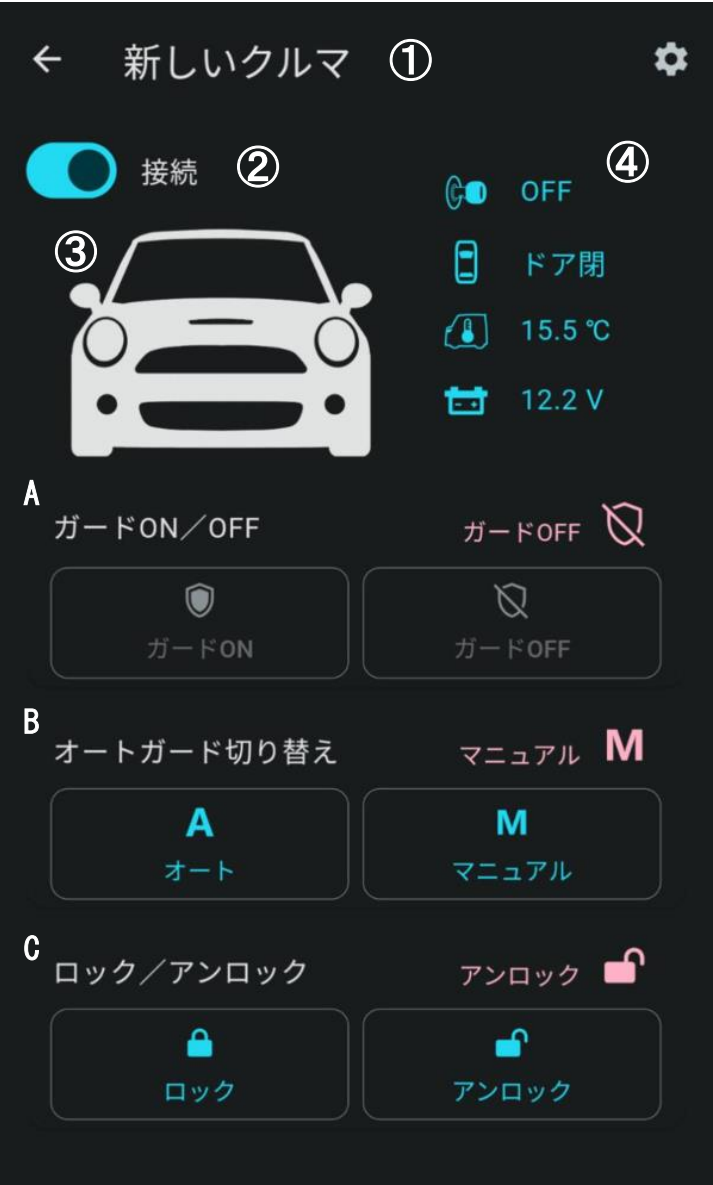
商品の概要

オートモードの状態、車両をロック後、スマホを持って離れるとセキュリティが ON になります。セキュリティ ON 中は、車両のスマートキーで解錠することができません。スマホを離れた位置に置き、スマートキーだけを持って車両に近づき、解錠できないことを確認してください。

製品取付後は、必ず上記の動作確認を実施してください。上記どおり動作しない場合は、取付が間違っているか装置が正しく機能していません。適切な改善措置をしないまま使用すると、盗難のリスクが非常に高まります。

アプリの画面説明

1. クルマ操作画面説明



No	名称	機能
①	クルマ名称	クルマの名前を表示します。タップすることでクルマの名前を変更できます。
②	接続	スマホ対応モジュールの接続状態を表示します。タップすることで接続／切断を切り替えることができます。
③	クルマ画像	クルマの画像を表示します。デフォルトではアイコンを表示します。タップすることでスマホ内の画像を選択し、表示することができます。
④	クルマ状態	クルマの状態をアイコンとテキストで表示します。

No	名称	機能
A	ガード ON/OFF	タップすることで、手動でガード ON/OFF が可能です。
B	オートガード切り替え	タップすることで、オートモードの切替が可能です。
C	ロック／アンロック	タップすることで、ロック/アンロックが可能です。

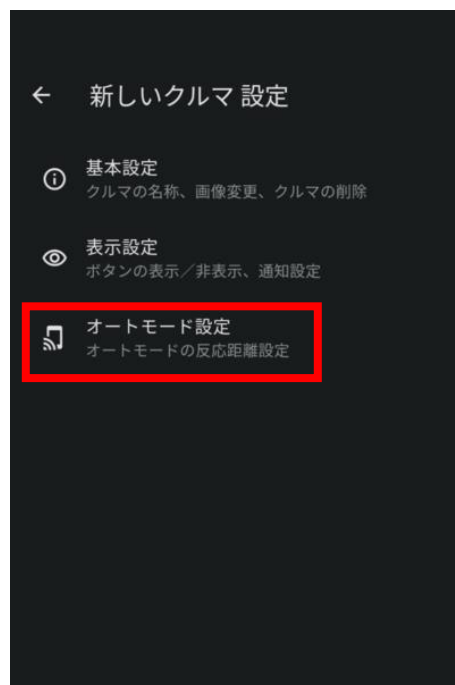
【参考】
スマホの表示がおかしい時は、一度切断し、再接続してみてください。

2. オートモード設定

動作確認が完了したら、オートモード設定の距離設定を行ってください。



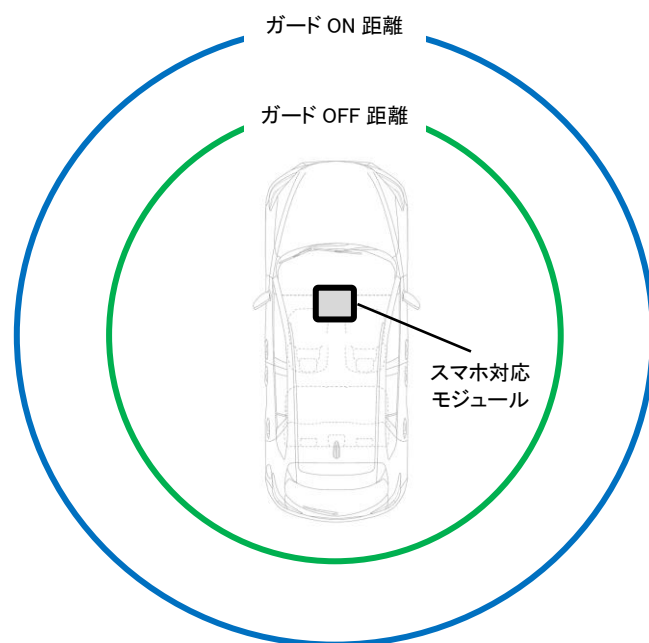
右上にある歯車のマークをタップします。



オートモード設定をタップします。



設定が完了すると保存をタップします。



理想的な検知範囲のイメージ

【参考】
現在の距離は、下記の条件で変化します。できるだけ普段と同じ位置に持って感度調整を行ってください。
スマホをポケットに入れる場合、後ろではなく、前のポケットに入れた方が感度は良くなります。

- ・スマホ対応モジュールの位置
- ・スマホの位置
- ・人の向き(前ポケットに入れている場合、後ろを向くと現在の距離が伸びます)

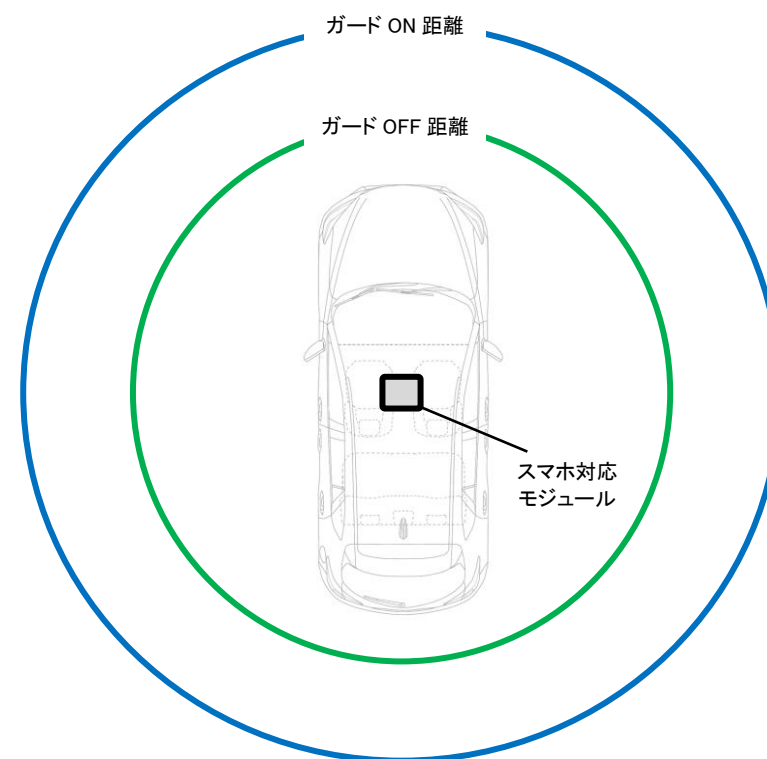
【参考】
ガード ON 距離とガード OFF 距離を離すと、近くにいてもガード ON と OFF を繰り返しにくくなります。

【参考】
仕様上、ガード ON 距離は、ガード OFF 距離より小さくすることはできません。また、ガード OFF 距離は、ガード ON 距離より大きくすることはできません。

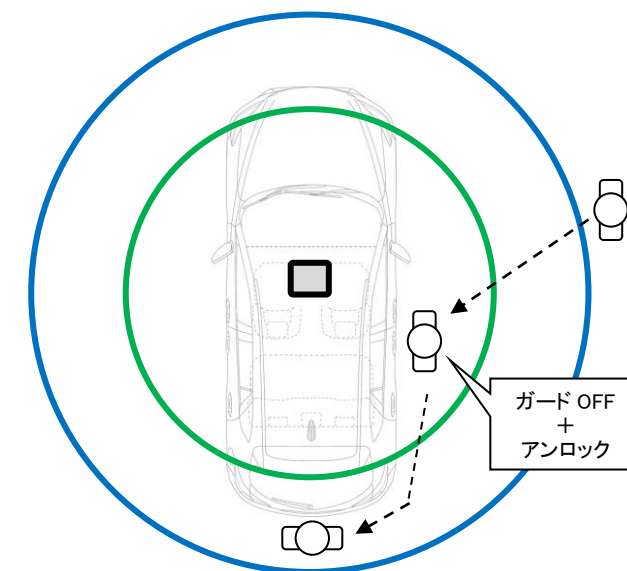
ガード OFF する距離について

スマホ対応モジュールから円状に検知範囲が広がります。図 1 のように車両全体を覆うようにガード OFF 距離を設定してください。バックドアを開ける場合は、必ずガード OFF になったことを確認してから開けてください。

(例) 家の近くに車両を駐車する場合、屋内にあるスマホを検知してしまうため、ガード OFF 距離を狭くする必要があります。それによって、バックドア付近が検知範囲外になってしまう場合は、図 2 のように運転席付近に近づいてガード OFF になったことを確認し、アンロックしてから、バックドアに移動して開けるようにしてください。ガード OFF になる前にバックドアを開けると、アラームします。アラームした場合は、アプリのガード OFF ボタンをタップして止めてください。



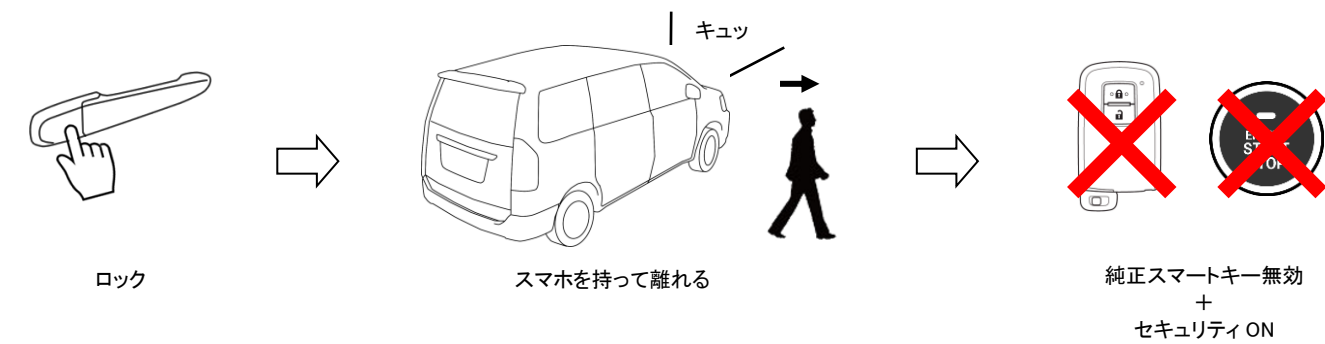
(図 1) 理想的な検知範囲のイメージ



(図 2) 検知範囲を広げれない場合の対応策

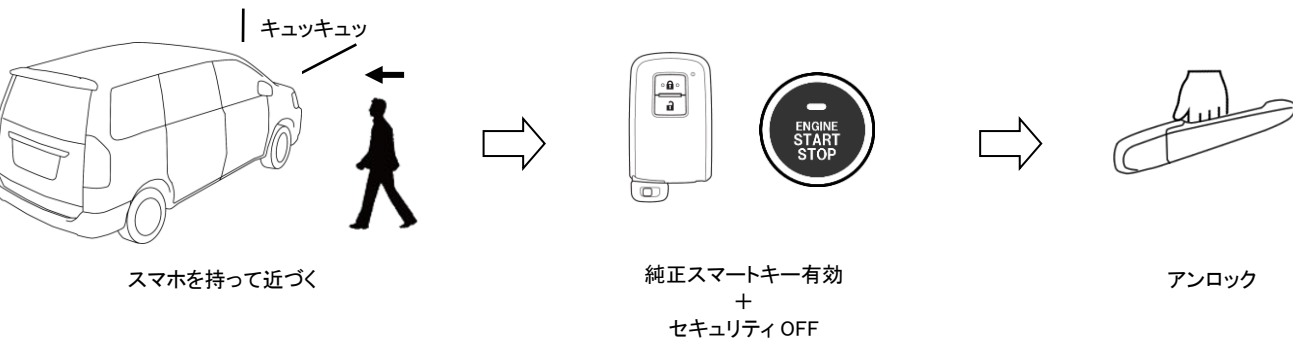
降車時の基本的な動作

ロック中にスマホを持って離れると、純正スマートキーが無効になり、セキュリティが ON になります。



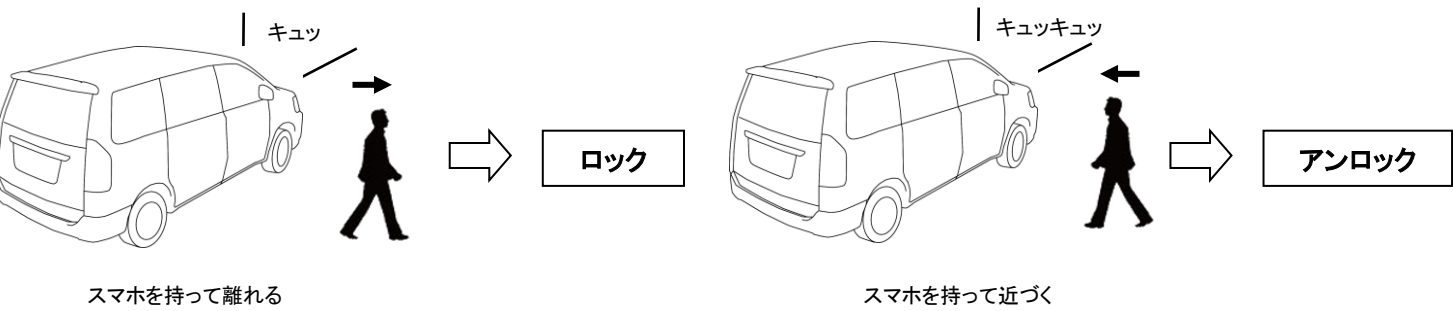
乗車時の基本的な動作

セキュリティ ON 中にスマホを持って近づく、純正スマートキーが有効になり、セキュリティが OFF になります。



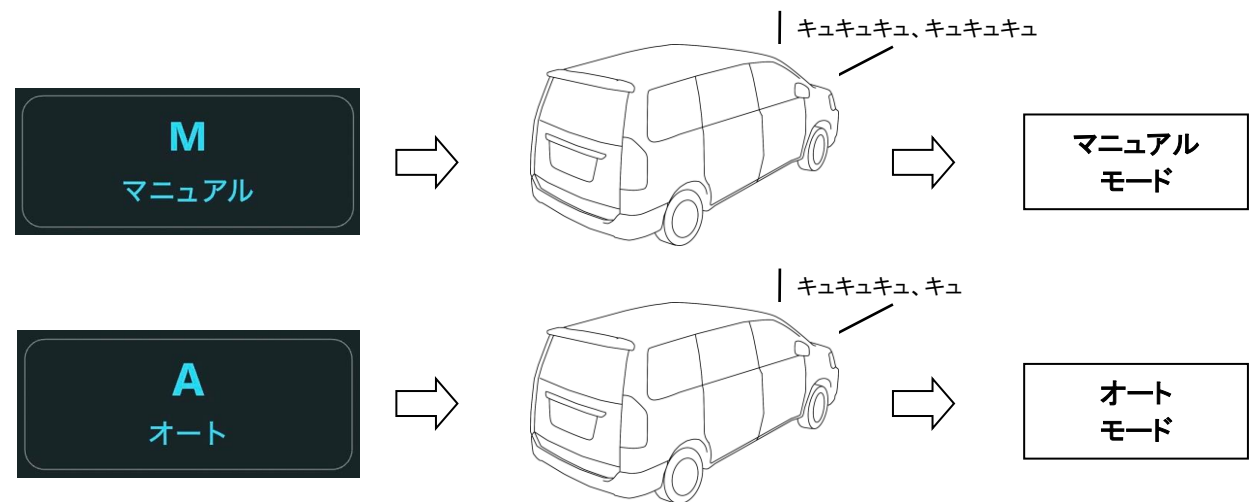
コンビニモード

エンジンを掛けたまま車両をロックやアンロックすることが可能です。



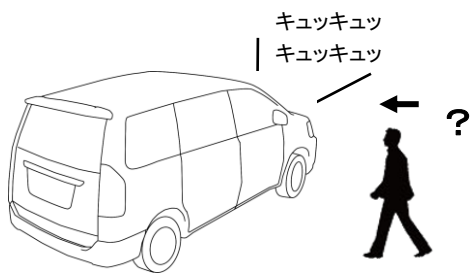
オートモードとマニュアルモードの切り替え

マニュアルモードにすると、スマホを持って離れたり近づいても自動的に動作しなくなります。アプリのボタンをタップして操作を行ってください。



ガード OFF 時のアンサーバックについて

ガード OFF 時のアンサーバック音が通常の回数よりも多い場合、ガード中に異常があったことをお知らせしています。エンジンを始動すると回数がリセットされます。



	異常なし	軽度障害あり (3回以上警告した場合)	重度障害あり (1回でもアラームした場合)
サウンド アンサーバック回数	2回 (設定で変更可能)	3回 (異常なし時のアンサーバック回数 + 1回)	4回 (異常なし時のアンサーバック回数 + 2回)

	異常なし	センサー 軽度検知	センサー 重度検知	ドア開閉 検知	バッテリー 脱着検知	エンジン ON 検知
LED スキャナ アンサーバック 回数	2回	3回	4回	5回	6回	9回

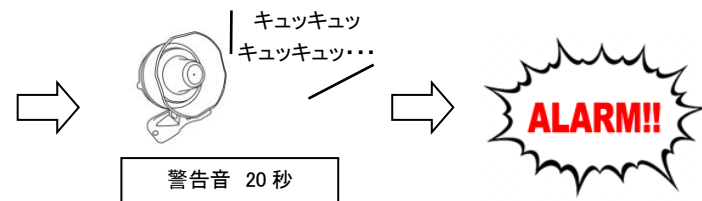
他人に車両を貸す場合（車検や整備等）

アプリでマニュアルモードにし、ガード OFF の状態で、車両とスマートキーを渡してください。

アラーム条件

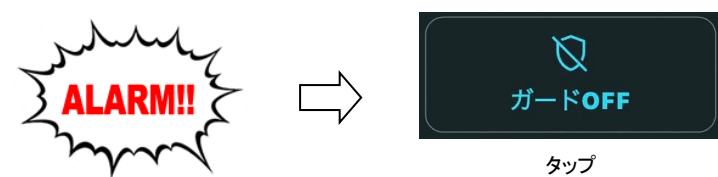
セキュリティ ON 中に以下の異常を検出した場合、警告音が 20 秒間鳴った後、ハザードが高速点滅し、30 秒間サイレンが鳴ります。その後、90 秒間ハザードが点滅します。

- ・ドアが開けられる。
- ・ロック中にバッテリーを外され、再度バッテリーを接続される。
- ・センサーが重度障害を検出する。
- ・エンジンが始動する。



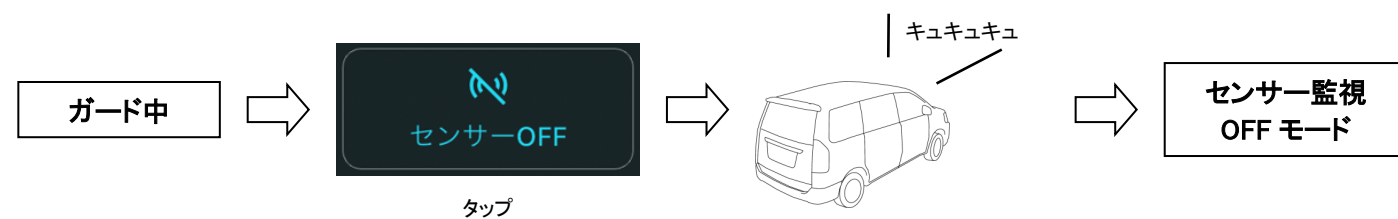
アラームの止め方

スマホを持って近づくか(オートモード時)、ガード OFF ボタンをタップするとアラームは止まります。



センサーの有効/無効の切り替え

人が多い場所や立体駐車場に駐車する場合は、センサーを無効にすることができます。



セキュリティの強制解除方法

※本体に付属する取説にはここに
セキュリティ解除方法が記載されています。

【参考】
詳細な使用方法に関しては、Web 上の取扱説明書をご確認ください。
https://cepinc.jp/chumon/smart_lockman/smg_torisetsu.html

